

こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

発行：2014年11月16日
連絡先：日本共産党伏見地区委員会
TEL(611)9135 fax(602)9117



みんなの声を力に

来年4月いっせい地方選挙選挙

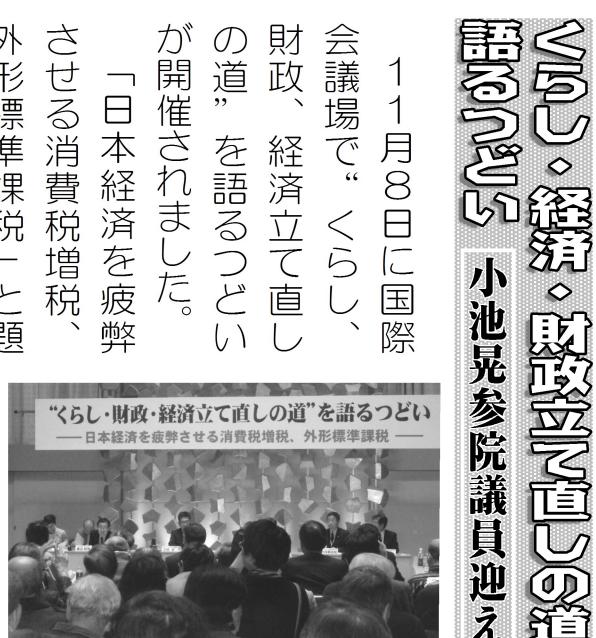
くらし・福祉いちばんの京都府・市政に全力！！



会場いっぱいの熱気につつまれた
ダイゴロー。西野さち子市議の
訴えに共感が広がった（写真右）
倉林明子参院議員とそろいぶ
みする西野・ばば両氏（同上）

醍醐西・池田学区の議会報告会が1月8日の夜に、パセオダイブローで行われ、会場いっぱいの参加者で熱気につつまれました。西野さち子市議は、決算議会の中で京都党の市議が市営住宅をなくすべきと発言したことを告発。その一方で、福祉も暮らしも切り捨てて京都駅にリニア新幹線をもつてくるとのオール与党の財界いいなりの姿勢を批判しました。「税金の使い方が間違っています」と発言された方や、「消費税の増税は輸出大企業には濡れ手に泡でぼろ負けでも、中小零細の赤字企業は払えない」と訴えが出され、日本共産党の躍進こそが政治を変える道だと確信しました。

最後に倉林明子参院議員が「国会で日本共産党の議員が11名に増えて、国会が大きく変わりました。本会議での質問回数も3の回に増えました。委員会も含め私は46回質問できました。今、消費税の更なる増税をさせない動きが国会でも広がっています。まずは来年秋の増税をさせないために1点共同で頑張ります」と報告しました。参加された方が元気になる演説会でした。



11月8日に国際会議場で“くらし、財政、経済立て直しの道”を語るつどいが開催されました。「日本経済を疲弊させる消費税増税、外形標準課税」と題して行われたつどいには、これまで日本共産党とは全く反対側におられた方も参加され、小池晃参議院議員、倉林明子参議院議員も参加しました。

岡田山の下に立つられた建物の中では、ベルトコンベアーから流れてくる産業廃棄物を手作業で仕分けする多くの労働者に驚きました。かなりのほこりの中でマスクをせずに作業をする人が多く、西野市議は京都市の担当者にその場で「労働安全衛生が不十分だ。指導すべき」と指摘しました。持ち込まれた産廃の土や岡田山の土は業者と京都市の2重チェックをしているとの報告がありました。後日、京都市に対して結果の資料を要求しています。

市政
報告

深草の産廃処理施設を
視察しました

深草の環境



小池参議院議員の報告の後、様々な角度からの議論が行われました。「これまで与党の議員に圧力をかけて仕事をとってきたが、もうそういう時代ではない」と発言される方や、「消費税の増税は輸出大企業には濡れ手に泡でぼろ負けでも、中小零細の赤字企業は払えない」と訴えが出され、日本共産党の躍進こそが政治を変える道だと確信しました。